

読者モデル **茂木 郁美さん**

シェアメイト フランス人・ドイツ人・台湾人・日本人

部屋のタイプ シェアルーム

家のタイプ タウンハウス

ボーイフレンドや友達と一緒に暮らしている郁美さん。勉強と仕事で忙しい日々を送りながらも、国際色豊かなシェア生活を楽しんでいる。



庭でシェアメイト全員とBBQ。月に2回は開催する。



食後はみんなで仲良くゲーム。ゲーム機もシェアする。

シェアハウスでの生活について

私は、今まで6件のシェアハウスを経験していますが、毎回大きなトラブルもなく、シェアは大好きです。前に住んでいた所では、男の人とルームシェアをしていましたが、異性でも特に問題はなく、よく夜中まで恋愛の話などで盛り上がっていました。シェアをしていると、価値観の違いを感じる事が時々あります。例えば、今のシェアハウスでちょっとビックリしたのが、料理をする際、他の人の食材を勝手に使う人がいるんです。後から報告して買って返すんですが、使われた方も怒らない。また、時々誰かがご飯を振舞ってくれても、食材のお金を割りかんすることは少なく、お互いに助け合っている。そういう意味で、今の家は“細かいこと”を気にしない人が多いので、住み心地が良いですね。



料理人のシェアメイトが、みんなに料理をふるまってくれた。この日はクスクスという料理。

その2 **バックパッカーズ Backpackers**

安くて便利なバックパッカーズ。複数の人と部屋をシェアするドミトリータイプが多く、気軽にシェア生活体験ができる。スタッフや宿泊者、掲示板からの情報収集にも役立ち、見知らぬ土地に行った際には是非利用したい。今回は、読者モデルの矢澤勇基さんに、実際にバックパッカーズに体験宿泊してもらいました。



受付にて。シーツや枕カバーなどは自分でセットする。



ベルギーから来ている宿泊客と一緒に、バックパッカーズ主催のBBQに参加。



掲示板では、車のリフトを始め、いろいろな情報が貼られている。



フランスからワーキングホリデーで来ているという、ルームシェアメイトのオリピアさん。



海外から来た宿泊客と友達となり、屋外のスイミングプールでくつろぐ勇基さん。



オリピアさんと一緒に朝ご飯。寝食を共にして、仲良しに。

読者モデル **矢澤 勇基さん**



日本の大学を休学し、ワーキングホリデービザでオーストラリアへ。他州の郊外での生活を体験した後、パースへ。今までもシェア生活を経験してきたが、バックパッカーズに泊まるのは初めて、と言う勇基さん。

泊まってみての感想

泊まった部屋やシャワーなど、とてもきれいで使いやすかったし、他の宿泊客の人たちもみんな陽気で、もう少し長く滞在できたら、もっとたくさん友達が出来たんだろうなと思いました。初めは、見知らぬ人ばかりだから少し緊張しましたが、ドミトリーは部屋が同じだからシェアメイトに話し掛けやすく、密なコミュニケーションが取れるので、バックパッカーズはいろいろな国の人と簡単に友達になれる場だと思いました。またどこかに旅行に行った時は、是非利用してみたいです。

今回体験したのはココ

Billabong Backpackers ResortP36 参照

住所：381 Beaufort St, Perth 電話：08 9328 7720 www.billabongresort.com.au
スイミングプールや卓球台、トレーニングジムなど、充実した設備が整っているバックパッカーズ。

その他パースのおすすめバックパッカーズ

The Old Swan Barracks P36 参照

Perth City YHA P36 参照

YMCA Perth-Jewell House ... P36、37 参照